

# 町政を問う!!

10議員が質問・提案を

## 防災対策

### 消火栓の調査は済んだのか 水の届かない住居1079



藤本 岩義 議員

ある。今後、年に5基の消火栓を設置していく。

**問** 年5基では住民に安心感を与えるにはほど遠い。防災の町「黒潮町」であるなら10〜20基設置すべきではないか。

直ぐにできないのであればホースの延長を考慮すべきだ。また、住民にこの事実を早く伝えるべきではないか。

**問** 先の質問では消火栓の実態調査を行うとのことだったが、調査は済んだのか。消火栓はあるが、実際は水が届かない住居はどのくらいあるか。あるとすれば、今後の対応を聞く。

**答** 徳廣 情報防災課長

調査をした結果、町内に445基、佐賀地域162基、大方地域283基設置されている。ホース延長で円を描きその中に入らず、消火活動ができない建物は1079軒

**答** 大西 町長

調査の結果を次の消防団幹部会と共有し、ホースの延長で対応できるのか、消火栓の設置を急ぐべきなのか協議して、今後の方向性を早い内に確定し、その上で地域の水利等を熟知している消防団を通して速やかに地域に情報提供をしていく。

拡充が待たれる消火栓



## 中山間対策

### 地域活性化交付金見直しを 制度改正を 検討する

**問** 合併後、中山間は少子高齢化の波をまともに受け寂れる一方だ。町内独居老人世帯も240世帯となり、限界集落も19集落となつている。合併協議の中で地域の維持活性化のためにできた「地域維持活性化交付金」も佐賀地域で見れば合併初年に672万円あったものが

平成29年決算では半分以下の333万円となつている。人数減と高齢化のため維持が難しい。要綱を改正し対応できないか。

**答** 矢野 地域住民課長

指摘のように高齢化率も上がり、限界集落も増えている状況は十分認識している。今後は平成32年度に向けて制度改正を関係各課と検討する。

## 拳ノ川診療所

### 常勤医の見通しは 医師過疎で 難しい

**問** 現在、医療センター、幡多医師会に大変お世話になり、診療所がスムーズに運営されている。この機会に常勤医の確保に向け努力する必要があると思うが見通しは。

平成29年決算では半分以下の333万円となつている。人数減と高齢化のため維持が難しい。要綱を改正し対応できないか。

**答** 大西 町長

先生方にも相談して常勤の確保としてのスタンスは取っているが医師過

疎のなか難しい。「腰を据えて、地域と関係性を持つ、こういった先生でなければ安易に選択するのはどうか」とご指導頂いた上での現状だ。

## 情報基盤整備

### 高速化対策を 急げ H31年度に 実施予定

**問** 何度も高速化の対応を質問した。現在、夜間や休日は契約の3〜4%の速さである。これでは、高速の料金を払った上に、混雑の道路を走っているようなものだ。対策は。

**答** 徳廣 情報防災課長

現行予算内で新技術が導入可能と協議結果が出た。来年度の導入を検討しながら詳細を詰める。これにより高速データ通信が可能となる。

【その他の質問】  
職員について